

大場正昭議員

市民病院のあり方

**問** 医師確保のため、市としての今後の対策はどうか。

**答** 大学の医局への働きかけ、袋井市出身の医師への呼びかけ及びインターネット等を通じての医師の募集が考えられる。また、医師会との連携を強化することにより、在職中の医師の過重労働をなくし、退職をとどめる。市民病院で



「これからの自治体病院のあり方」講演会の様子

寺井紗知子議員

景観計画策定

**問** 「水と緑と光り輝く」イメージを大切にしたい袋井の景観保全の計画策定は。

**答** 市民が誇れる美しい景観づくりを推進するため、景観法に基づく景観計画の策定を当面の目標としていきたい。



歯周疾患検診

公契約条例制定について

**問** 価格だけで落札者を決める入札制度は、労働者の低賃金につながるなど多くの問題がある。公正労働基準の確立が必要では。

**答** 可能な限り安い価格で、しかも賃金や労働条件を適切に確保されることは望ましいことと認識しており、研究していきたい。

口腔ケアについて

**問** 本市の17年度歯周疾患検診で、40歳以上の受診者の91%が「要精密検査」である。歯の健康についての取り組みは。

**答** 生涯にわたり食事や会話などを楽しみ、人生を豊かにするためには、歯を健康に保つ事が大切であり、引き続き口腔ケアの啓発を推進したい。

**問** 幼児から高齢者まで憩える公園設置を要望するが。

三川地区公園設置

**答** 公民館隣接地などの候補地もあるが、地域からも適切な場所を挙げていただき、都市計画マスタープランやみどりの基本計画に位置づけ、地域の皆様とも協議をし、地域に合った望ましい公園を整備したい。